



広報きたやま

Public Relations

Kitayama

2018

1

No.237



一年の始まり

新年あけましておめでとうございます。

気持ちのいい新年を迎えられた事と思います。

北山村議会も「夢・希望」を持って戴ける政策の実現に向け、努力する年にしていく覚悟で頑張りますので本年も宜しくお願いいたします。

西暦二〇二八年（平成四十年）頃からは、全国の道路橋梁などの維持補修に大規模な予算がかかることが予想されます。又、高齢者対策についても、医療費増大など深刻な問題となっており、近い将来、日本の子供の寿命が一〇〇歳になるとも想定され「人生一〇〇年時代」を耐え抜く方法が話題となっています。長寿社会を見据えた村の人生設計も大変重要なことではないでしょうか。

ありがとう

会共々、頑張つて参りますのでご支援を頂きたいと思っております。

新春早々、何か楽しい記事を書きたいと思つてペンを走らせています。昨年の世相を表す漢字は確か「北」でしたが、私、今年は「謝（ありがとう）」の言葉を期待します。

人生色んな局面に遭遇しますが、損得抜きに相手が困っていたら、自分がその立場に立つて、如何に対応するかが大変重要なことです。

皆さんは、家族で北山の食文化である、塩シビ・サンマ寿司を食べながら楽しい会話で新年を迎えている事と思います。健康であることに對し両親に「感謝」の一言をかけ、これまでの人生を振り返つて、いろんな経験を与えてくれた方々にこの気持ちを忘れずに「ありがとう」。本年も良い年であります様にお祈りし、新年の挨拶とします。

北山村議会議長 久保 學

新年あけましておめでとうございます。

村民の皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

毎年のように発生する災害、昨年も九州北部豪雨におきまして多くの死者・行方不明者を出しました。和歌山県においても十月の台風二十一号により紀北地方では人身被害と家屋の浸水、また新宮市でも多くの家屋の浸水被害がありました。

我が村におきましては大きな災害に見舞われませんでした。油断大敵です。村民の皆様におかれましては、常日頃の心構えを怠りなきようお願いいたします。国政におきましては昨年、安倍政権におきまして森友・加計学園疑惑や大臣・国会議員の問題発言あるいは不祥事が連日報道されました。にもかかわらず昨年十月の衆議院解散総選挙におきましては、野党の混乱に乗じて圧勝しました。新しい年を迎え、安倍政権にはおこることなく政権運営にあたっていただき、国民生活に格差が生じないような施策に取り組んで頂きたいものです。

さて我が村の新しい年はどうのような年を迎えることになるのか。奥漣道路Ⅲ期事業ですが、新年度の早い時期に起工式が行えるように国に要望をいたしております。観光筏下りにつきましては、昨年乗船客数二十万人を突破

村議会新構成 主な役員

議長	久保 學
副議長	久保 隆俊
総務建設 常任委員会	委員長 葛城 健也
	副委員長 前岡 武津雄
議会運営委員会	委員長 福村 尚
	副委員長 葛城 健也
監査委員	久保 隆俊
紀南環境衛生 施設組合議会	議員 福村 尚
	議員 前岡 武津雄
後期高齢者医療 広域連合議会議員	久保 隆俊
国保運営委員	福村 尚 前岡 武津雄

したところでありましたが、今年は開航四十周年を迎えることから、四十年間継続してこれた事の意義と感謝の気持ちを込めて、様々なイベントを実施する予定であります。特産品（じゃばら）ですが、ふるさと納税との相乗効果により販売促進を図っていきたくと考えております。また、ふるさと納税につきま

しては、納税額が昨年度の実績を大幅に上回る状況であります。寄附金の使途につきましては、議会とも相談しながら地域振興事業や子育て支援などに有効に活用させていただきま

す。村民生活の安心・安全におきましては、防災対策は勿論ですが、なんと云つても常日頃の健康管理が大事であります。遠隔診療をはじめ僻地医療においては非常に評価が高い

多田医師を中心として、引き続き診療体制の充実に努めていただきたいと思います。

ただ村民自らが健康管理を行つていただくためにも、社会福祉協議会へのシニアエクササイズやデイサービス、写経教室など積極

的な参加をお願いします。

北山村は昨年十一月に地方自治法施行七十年周年記念式典におきまして、「自らの創意工夫により、優れた施策を実施した」ことにより地方自治功労総務大臣表彰を受賞しました。今年も、「過疎に打ち勝つ村づくり」をスローガンのもと、村民の皆様、議会、執行

部が一体となって創意工夫のもと施策に取り組んでまいりたいと考えておりますのでどうか宜しくお願い申し上げます。

村民の皆様には第一に健康に留意され実りある良い一年となりますことを心から願ひ新年の挨拶といたします。

北山村長 山口 賢二



北山村が 地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰 を受賞しました

平成29年11月20日(月)に東京で行われた、地方自治法施行70周年記念式典において、北山村が自らの創意工夫により、優れた施策を実施し、地方自治の充実発展に寄与した市町村に送られる「地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰」を受賞しました。今回は村としてどのようなことに取り組んできたのか、受賞理由として挙げられた4つの施策と過去の受賞履歴について紹介していきます。

北山村の取り組み

独自の教育制度

安心して子どもを産み育ててもらうために保育料は無料としている。また、小・中一貫教育を取り入れ、教職員も合同とし、9年間を見通した教育活動を実現。さらに、語学教育の充実のため村独自でALTを雇用し、保育園から中学生まで各学年で外国語活動に取り組み、中学生を対象とした海外語学研修など、国際化社会に対応できる人材の育成に努めている。



北山村の伝統文化である「筏」を今に伝えるべく改良した「観光筏下り」で観光振興に寄与。古くは林業が主幹産業として栄え、その輸送手段として激流を下る筏師の技が磨かれていたが、昭和40年のダム建設と、材木の運搬が陸路に代わる時代とともに筏師の仕事も終わりの時を迎えようとしていた。しかし、これからの村を支える産業を作らなければいけないとの思いから、安全性など様々な検討を重ねた上で筏師の技術を観光資源に変え、昭和54年に「観光筏下り」をスタートさせた。

権を使って筏を操るのは全国でも北山村だけである。平成26年2月に村の無形文化財に登録、平成29年には和歌山県民族無形文化財に登録された。

現在、年間約8千人近くの観光客が観光筏下りに訪れ北山観光のメインとなっているほか、全国から筏師候補者を募り、現在15人いる「平成の筏師」はそのほとんどがUターンやIターンで、定住の促進にも貢献している。



北山村だけの特産品「じゃばら」を使用した商品を開発・PRし地域活性の一翼を担う。「じゃばら」の名前は「邪(気)を払う」ことに由来し、柚子やダイダイ、カボスの仲間の柑橘類でまろやかな風味が特徴である。「じゃばら栽培は北山村を過疎から守る産業になりうる」として、みかんの分野で有名な田中論一郎博士に調査を依頼した結果、国内はもとより世界に類のない全く新しい品種であることが判明した。

官民一体の商品開発で、ドリンク、ポン酢、アロマなど様々なじゃばら商品を誕生させた。「花粉症の症状が軽くなった」という声が広がり各メディアにも取り上げられ、その後、和歌山県工場技術センターが花粉症などのアレルギー抑制効果があることを学会で発表したこと、また、インターネット通販で販売を広げたことも売り上げに繋がり、じゃばらが売り切れるほど爆発的なヒットとなっている。

現在7haの農園(村営3.5ha、民営3.5ha)が山の麓にひろがり、村の大きな収入源である。



村営バスの運営

昭和59年7月、民間バス会社の撤退により、村民の生活のみならず観光筏下り等地域振興の柱である観光産業にも深刻な影響が懸念されたが、北山村役場直営でバスを運行することを決断。平成21年からは北山村民に限りバス使用料を免除している。

北山村の過去における表彰

平成2年1月31日	全国町村会表彰
平成6年9月27日	第33回農林水産祭むらづくり部門 農林水産大臣賞
平成9年3月11日	第5回美しい日本のむら景観コンテスト 農林水産大臣賞
平成9年11月20日	地方自治法施行50周年記念総務大臣表彰
平成15年11月6日	地域づくり表彰 国道交通大臣賞
平成16年3月19日	毎日新聞社 毎日・地方自治大賞「優秀賞」
平成19年	日経地域情報化大賞2007 日経MJ(流通新聞)賞
平成22年12月21日	地域づくり総務大臣表彰
平成26年10月25日	第3回全国町村サミット村オブザイヤー2014 優秀賞

「宅トレ」 はじめませんか？

多田先生・山崎保健師の
健康講座



運動不足の解消に「宅トレ」

寒さが厳しくなってきました。この時期はついつい「こたつ」「みかん」「テレビ」の三点セットがお供になり、運動不足になりがちです。持病の悪化や、年齢に関わらずケガが多くなることもこの時期が圧倒的に多いです。

でも、運動不足の解消といっても、こんな寒い冬に屋外で散歩やランニングは気が進まない、という方もいらっしゃると思います。そんなときにお勧めしたいのが自宅自分の好きなタイミングでできるトレーニング、いわゆる「宅トレ」です。世の中でも徐々に注目されてきています。

左右1分間ずつ1日3回
転倒しないよう、つかまるものがある場所で行う

片脚立ち



片方の脚を少し浮かせる

ゆっくりと腰を浮かせて元に戻る

深呼吸するペースで5～6回を1セットとして1日3セット。安全のためイスやソファの前で行いましょう。

スクワットがきつい方へ

イスに腰掛け、片足ずつゆっくりと元に戻します。これを10回1セットとし3セットを片脚ずつ行いましょう



足の裏に体重がかかるのを意識する



スクワット

「宅トレ」の3つの効果

① 体幹バランスの保持

年齢とともに失われがちな身体を支える中心部の筋肉を何時までも元気に保つことが出来ます。また体幹バランスが崩れると、背中が曲がる圧迫骨折も起こりやすくなります。

② 骨粗しょう症予防

骨は適度な振動が加わることで強くなり、骨密度が上がります。カルシウムといった骨の材料の成分を取ることはもちろん、宅トレで骨に負担を与えることで骨粗しょう症も予防できます。

③ 冷え性改善

筋肉が落ちてくると、手足や身体が冷えやすくなります。冷えを感じると益々動くことが億劫になるため、万病のもとと言われる冷え性を進行させます。

社協と北山村診療所で共同に行っている、ロコトレも「宅トレ」の1つです。ロコトレ講習会を社協で行っていますので、ご希望の方は社協までご連絡ください。

ロコトレで余裕のある方、若い方には、宅トレ解説用のテレビ、YouTubeや、宅トレ用のスマホアプリもあります。

診療所で多い1番の訴えは実は腰や肩の痛みが1番です。そんな症状にも適度な運動は効果があることはよく知られています。自分なりの「宅トレ」試してみませんか？



宅トレと脳の関係

宅トレを行うことは身体を保つだけでなく、脳をトレーニングすることにも繋がります。私たちが身体を動かすときに筋肉に指令を出しているのが脳なのです。つまり、筋肉を動かすことで、脳内からの情報伝達機能が繰り返し行われることにより、脳のトレーニングへと繋がります。また、記憶を司る海馬は65歳を越えると1年で約1%萎縮し、その機能が減少してしまうと言われています。しかし、宅トレを行うことで血流が促進され、海馬内の神経細胞が新しく作られます。宅トレによって脳の伝達機能をトレーニングして海馬内の神経細胞を常に鍛えることで認知症予防につながる事が出来ます。いくつになっても筋肉は鍛えることが出来ます。



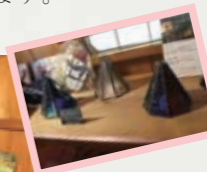
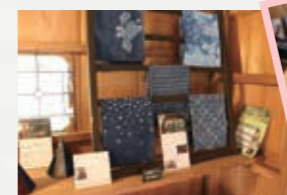
この日のフードメニューは、「鶏肉とレンズ豆のカレー」、「天然酵母ベーグルサンドプレート」でした。ベーグルサンドはテイクアウトもでき、ベーグル以外の自家製パンの販売も行っています。その他こだわりのコーヒー豆を使用したコーヒーやじゃばらを使ったドリンク等・ケーキなどのメニューもあるので是非一度は足を運んでみてください。



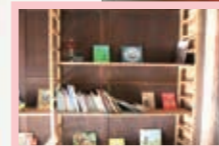
和歌山県移住者起業補助金

を活用し七色にカフェがオープンしました！

和歌山県移住者起業補助金とは現役世代の移住を促進し地域振興を図るため県外から移住してきた60歳未満かつ移住後3年以内の方で、10年以上定住する意思のある個人を対象に地域資源を活用した起業家に対して支援する制度で、平成28年に北山村に移住してこられた、池田有里さんが七色地区で12月1日から「里山 cafe 山花」としてオープンしております。



北山村周辺で活動されている作家さんの作品の展示販売もあります。雑貨・布製品・ステンドグラス等



絵本は貸し出しもできます（村民限定）

2階にも食事スペースがあり、絵本等も多く置いてあるので、お子様連れでも気軽に来ていただけます。



お店に行ったのが土曜日だったこともあり、2人の可愛い娘さんにもお会いできました。



築90年の納屋が現在のおしゃれなカフェに至るまでの過程を、一冊の本として飾っています。昔ながらの建物の構造や雰囲気を活かしつつ、趣のある空間となっております。

里山 cafe 山花

北山村七色316
TEL: 0735-30-0380
営業日 木・金・土
(繁忙期除く)
営業時間 10:00～16:00

第9回 じゃばらの里の収穫祭開催

11月12日(日)、第9回目となるじゃばらの里の収穫祭が下尾井のおくところ公園内で開催されました。例年よりも多い、約1,500名が訪れました。

今年は、吉本興業所属の「わんだーらんど」が会場に訪れ司会進行・漫才等を行っていただき会場を沸かせました。例年好評なじゃばらバーガーは即完売し、猪鍋の無料配布には長蛇の列ができました。また、今年は北山村のふるさと納税のPRも込めて返礼品の試食もあり、多くの人に試食してもらい、ふるさと納税を知ってもらうきっかけとなりました。また、北山村のご当地ヒーローのじゃばライダーショーが始まると会場の子供たちが集まりステージにくぎ付けになりました。ショーが終わるとカメラ撮影に子供たちが群がりじゃばライダーの人気が増えました。



第7回 福祉のげんき祭り！！

12月3日(日)、第7回目となる福祉のげんき祭りが高齢者福祉センターで開催されました。

毎年恒例の鳥天等の出店やフリーマーケット・ゲームコーナーなどがあり会場は賑わっていました。また健康食のカレーの試食や子供から高齢者による手作りの手芸品・木工品などの作品が並んだブースがあり非常にクオリティの高い作品の数々に驚きました。その他、健康相談コーナーや献血バス・マッサージ機の無料体験と行われました。また、和歌山大学の本山貢先生による健康講座が行われ、全員で体を動かしながら講義が行われました。最後には餅まきが行われ、その日一番の盛り上がりを見せました。

桂文福さんによる人権講演

11月1日(水)、桂文福さんとその一座の人たちによる人権講演「出会い、ふれ愛、わきあいあい～真の笑いは平等な心から～」が村民会館で行われました。

桂文福さんの落語から始まり、桂文福一座の千田やすしさんと桂まめださんによる腹話術や南京玉すだれ・皿回しの披露などがあり会場は終始笑いがおきていました。桂文福さんの落語においては、北山村の事についても触れていただき、とても親しみやすく聞け、笑うことが出来ました。時には人権についても話していただき、考えさせられる場面もありました。



防災フェア

11月7日(火)、「北山村防災フェア」が村民会館で行われました。

近隣の防災グッズを販売している業者に来てもらい防災グッズの展示及び販売が行われ、初めて見るグッズの数々に来場者の皆さんは興味深々でした。非常食の試食コーナーも設け、来場者に食べてもらうことで最近の非常食の味を知ってもらうきっかけとなりました。また、国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道事務所長の水野浩次さんによる防災と危機管理についての講演会を行ってもらい、来場者の防災に対する意識の向上に繋がりました。最後には非常食の配布が行われました。



社会福祉協議会 クリスマス会

12月15日(金)、高齢者福祉センターでクリスマス会が開催されました。

保育園児・小学生・中学生による歌・ダンス等の披露が行われ、保育園児にはサンタクロースからのプレゼントが手渡されました。また、社会福祉協議会の職員による出し物も行われ、二人羽織は佐久間春樹さんと浦畑諒さんが椅子に座り、そうめんやシュークリームを食べる姿に会場は大爆笑の渦に包まれました。そして、久保英一さんによる瞬間移動のマジックでは着ぐるみに入った久保さんが瞬間移動するという盛大なマジックが執り行われました。最後には抽選会が行われ、来ていただいた方にクリスマスプレゼントとして手渡されました。



第5回きたやま健康ウォーキング

11月25日(土)第5回きたやま健康ウォーキングが村内で行われました。

昨年と同様、平澤学先生をお迎えして、ウォーキングの仕方やストレッチの基本等を教えてもらいながら下尾井の観光筏センターからつり橋を渡り大沼橋を渡って、高齢者福祉センターまでの約4kmを約1時間かけて約30名の参加者が歩きました。また、高齢者福祉センターに到着してからセンターの中で家でもできるストレッチを覚えてもらい、参加者の皆様は先生の言葉を聞きながら、楽しくストレッチを行いました。



消防出初式



1月4日木曜日、下尾井グラウンドにおいて平成30年消防出初式が行われました。

団員44名が参加し、消防車とともに入場し、表彰式や一斉放水が実施されました。山口村長が「団員の皆様には今後とも、村民が安全で安心して暮らせる北山村の実現のために、より一層のご尽力をお願いします。」とあいさつし、仁坂吉伸知事の祝辞を東牟婁振興局長の児玉征也局長が「県民の安全安心の暮らしの実現のため、火災や災害に立ち向かう皆様の力が必要。県としても県民の命を守るため、防災・減災に取り組んでいきます」と代読。団長訓示では、「災害発生時には、地域の皆様、消防団の皆様が一丸となって災害対応等に対応していかなければならない。」と中瀬古団長があいさつした。最後には一斉放水が行われ、各分団の日ごろからの訓練の成果を十分に発揮できた。



手作りしめ縄講座

12月15日、村民会館で手作りしめ縄講座が北山中学校教諭の金哲也さん講師のもとで行われました。参加者は縄を編むところから飾り付けまでを行うオリジナルしめ縄作りを楽しみました。しめ縄の型や飾り付けは各自が自由に行い、自分で用意したデコレーションを飾るなどして約2時間かけてしめ縄が完成しました。



成人式

1月3日火曜日、村民会館において平成30年成人式が行われました。今年は4名の新成人があり、3名（山本花奈子さん、迫谷徳人さん、大威駿也さん）が出席されました。山口村長は激励の言葉を受け、新成人を代表して山本花奈子さんは「心を引き締め新しい人生の第一歩を強く歩き出します」と謝辞を述べた。



左から、山本花奈子さん・迫谷徳人さん・大威駿也さん

町イチ！村イチ！2017

全国の町村が一堂に会し、それぞれが持っている特産物や観光資源などを披露する「町イチ！村イチ！2017」が東京国際フォーラムで開催され、北山村もじゃばらバーガーと製品を引っさげて参加してきました。おかげさまで用意したバーガー250セットは完売し、物産ブースも多くのお客さんに足を運んでもらいました。会場には、4万8千人もの人が来場し、じゃばらの魅力をたくさんの人に伝えられました。



じゃばライダーの活動記録



12月10日に、新宮のスーパーセンターオークワ南紀店駐車場にて熊野エリア商工青年部協議会主催の熊野ええもん祭りにじゃばライダーが参加してきました。各地域のゆるキャラやご当地ライダーが登場し、会場を盛り上げました。



また、さまざまな出店やステージイベントもあり、北山村商工会青年部はじゃばら商品の販売を行い北山村のPRも行ってきました。





保育所交通安全教室

和歌山県警察の方々に来てもらい保育園児に交通安全教室が行われました。子どもの交通事故が減らない現状の中で、自転車のヘルメットの着用や横断歩道の渡り方などを丁寧に教えてもらいました。



学習発表会

小中学生による学習発表会が小中学校体育館で行われました。ダンスや劇などの披露をはじめ、中学生の海外語学研修の体験を英語で発表するなど、生徒の創造性や協調性があふれる発表会でした。



クリスマス会

中学生以下を対象にしたクリスマス会が行われました。子どもたちの発表のほかゲームなどが行われ、サンタクロースの登場もありました。最後はお菓子や軽食がふるまわれました。



ふれあい収穫祭

収穫祭では昔の遊び（けん玉・ベーゴマ・お手玉等）で親子で遊んだり、自分たちで餅つきをしました。また、先生が焼き芋を焼いてくれて最後にはみんなでおもちと焼き芋を頂きました。



保育所発表会

合唱・ダンス・合奏・劇の披露が行われました。園児の子どもたちは去年流行った歌などを取り入れながら元気に可愛く披露していました。



● 政策推進室からのお知らせ

住宅の適正管理に関するお願い

平成27年度からの「空家等対策の推進に関する特別措置法」の完全施行を受け、村内の住宅の適正管理を目的とし、情報収集を行っております。所有する住宅・処理に困っている空き家などがあれば情報提供にご協力ください。これらの住宅については和歌山県などと協力し、空き家バンクに登録の上、移住希望者などに紹介することで賃貸・売買に結びつくことがあります。

また、ご自分が所有していない物件についても、放置されることで危険が及ぶ可能性がある住宅・建造物などがありましたら情報提供をお願いいたします。



政策推進室 小林
TEL: 0735-49-2331

● 新宮税務署からのお知らせ

ご自宅等のパソコン等で確定申告書の作成を！

税務署の申告書作成会場は大変混雑しますが、国税庁ホームページの「**確定申告書等作成コーナー**」を活用することで、税務署に向向く必要もなく、計算も自動で行ってくれるので正確な申告書を作成することができます。スマホ・タブレットでも作成が可能となっております。



お問合せはお電話で

- 確定申告書作成コーナーの操作方法 ⇒ e-Tax・作成コーナーヘルプデスク (Tel:0570-01-5901)
- マイナンバーカードに関するご質問 ⇒ マイナンバー総合フリーダイヤル (Tel:0120-95-0178)
- 税務相談等 ⇒ 新宮税務署 (0735-22-5261)

※新宮税務署で申告書等の作成・相談を希望される方へ

平成29年分の申告書作成会場の開設期間は、**平成30年2月16日(金)～3月15日(木)**までです(閉庁日を除く)。

相談受付時間は**16時**までです。

- 会場開設当初と申告期限間際は、特に混雑することが予想されます。
- 混雑状況により早めに相談受付を終了する場合があります。
- 会場では、原則としてご自分で決算書・収支内訳書等の作成やパソコン操作をお願いしております。



● 年金事務所からのお知らせ

国年通信 新成人の皆様へ 20歳になったら国民年金

国民年金は、年をとったとき、病気や事故で障害が残ったとき、家族の働き手がなくなったときに、働いている世代みんなで支えようという考えで作られた仕組みです。

国民年金は20歳以上60歳未満の方は加入することが義務付けられています。20歳になったら忘れずに国民年金の加入手続きをしましょう。

【 学生納付特例制度と納付猶予制度 】

「学生納付特例制度」

学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される

制度です。対象となる学生は、学校教育法に規定する大学、大学院、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校(修業年限1年以上である課程)、一部の海外大学の日本分校に在籍する方です。

「納付猶予制度」

学生でない50歳未満の方で

ご本人及び配偶者の所得が一定額以下の場合に国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

※平成28年6月以前の期間は、30歳未満であった期間が対象となります。



国民年金の御相談・手続き等については、役場または年金事務所までお問合せ下さい。

● 住民福祉課からのお知らせ

地域リハビリテーション講座

～家庭でできるリハビリテーション～

高齢化とともに、ご家庭で介護を必要とされている人数は年々増加しています。実際に介護をされている方、介護に携わっている方などを対象に、ご家庭で出来るリハビリ方法や介助方法を、実技を交えてわかりやすくお伝えいたします。



日時 平成30年1月21日(日)
午後13:30～午後15:30

対象 介護・健康に興味がある方なら
どなたでもご参加いただけます

会場 **北山村民会館**

講師 西畑 将史
(和歌山県理学療法士協会)

参加
無料

同時開催

生き生き健康体操

【申込先】北山村役場
TEL: 0735-49-2331

● 和歌山労働局からのお知らせ

「最低賃金、確認した？」



平成29年10月1日から和歌山県最低賃金は、時間額 **777円** となりました。

最低賃金とは、最低賃金法に基づき国が賃金の最低限度を定め、使用者はその最低賃金以上の賃金を労働者に支払わなければならないとする制度です。

なお、最低賃金法違反については、罰則が設けられています。

詳しいことは、和歌山労働局賃金室(073-488-1152)又は最寄りの労働基準監督署へお問合せください。

● 和歌山県警察からのお知らせ

KEEP OUT KEEP OUT KEEP OUT KEEP OUT KEEP OUT

犯罪被害者等支援活動及び犯罪被害者給付制度のお知らせ

犯罪被害にあわれた方や、ご家族は、直接の被害に加え、その後も精神的・社会的・経済的に深刻な被害を受けることが多く、再び平穏な生活を取り戻すためには、周囲の理解と配慮に基づく協力が重要です。

被害者相談窓口

- 総合相談電話(和歌山県警察本部)
短縮ダイヤル #9110
通常ダイヤル 073-432-0110
- 性犯罪被害相談電話(和歌山県警察本部)
短縮ダイヤル #8103(ハートさん)
通常ダイヤル 073-423-1150
- 公益財団法人紀の国被害者支援センター
相談電話 073-27-1000
月曜～金曜/午前10時～午後4時
土曜日/午後1時～午後4時

警察の犯罪被害者支援施策

- 犯罪被害者給付制度
故意の犯罪行為により不慮の死亡、重傷病又は障害の被害を受けながら、損害賠償等を得られない被害者又はご遺族に、国が給付金を支給する制度
- カウンセリング支援
不安を抱える被害者やご家族に、専門家によるカウンセリングの費用を公費で負担
- 性犯罪被害者への支援
性感染症等の医療費を公費で負担

【お問合せ先】
和歌山県警察本部警察相談課 代表 073-423-0110
新宮警察署警務課 代表 0735-21-0110
受付時間 午前9時～午後5時45分(土日祝を除く)



第20回

地方自治法施行70周年記念式典において

昨年11月20日、地方自治法施行70周年記念式典が東京国際フォーラムで開催され、北山村も自治功勞による総務大臣表彰を受章いただきました。

総理大臣や衆参議長がお迎えするなか、天皇皇后両陛下が舞台中央の椅子にお掛けになり、生まれて初めて間近でお姿を拝見することが出来ました。テレビでしか見る事がなかった両陛下を、一度は近くで見てみたい願望があったものですから、その時の気持ちは言葉にできない感動を覚えました。大変貴重な機会を得ることができました……と云うことで明仁天皇は来年4月30日をもってご退位され、皇太子徳仁親王が即位されます。

来年の5月1日からはどのような元号になるのか？また世界情勢は？国政は？……ともかくにも国民生活が安定して戦争のない平和な世の中であって欲しいものであります。

広報担当の枠

今年もよろしく申し上げます

新年あけましておめでとうございます。新年を迎え、気持ちを一新して今年1年も広報作りに励んでいきたいと思っております。昨年を振り返ると、広報においては4月から広報担当になり1年目だったので、見返すとまだまだな部分がたくさんあり、この1月号で3回目の広報ですが、いまでもまだまだ勉強不足な点だらけなので、今年こそ「広報きたやま」を自分のものにしていきたいです。どうぞ今年も優しい目で「広報きたやま」をご覧くださいませ。

また、自分自身のことを1年振り返ると、去年は25年生きてきた中で1番印象深い1年となりました。子どもが産まれて奥さんと3人で生活をするようになり、家庭を持つという重みを少しは理解できたのかなと思います。また、1月で6ヶ月になった娘の成長を日に日に感じながら奥さんと喜びを感じています。今年1年も子供の成長をそばで見ながら、自分自身も公私ともにさらなる成長ができるように、なにごとにも取り組んでいきたいと思ひます。

(年末のゴルフでひどいスコアを出してしまい立ち直れない 広報担当 橋爪大希)

新年あけましておめでとうございます。去年は新社会人になり、環境も生活スタイルもがらっと変わった1年でした。村の皆さんが右も左もわからない私を、温かく見守って下さったおかげで、大病もなく、元気に2017年を駆け抜けることができました。今年もどうぞよろしく申し上げます。今年の目標をここで発表して、自分にはっぱをかけたいと思ひます。今年の目標はずばり「駐車」です。ペーパードライバーを脱出して半年、やはり苦手なのが「駐車」。バックモニターを活用できず、どこに止めようとしても、ちよいと斜めになってしまう。今年こそ、まっすぐ綺麗な駐車を目指し奮闘していきたいと思ひます。

(ウィンタースポーツはスキー派 広報副担当 荒井恵理)